



高陵山 光明寺寺報 第7号

平成31年3月1日発行
発行 石狩市八幡町高岡16-2 光明寺内

光明寺ホームページ [石狩 光明寺](#) 🔍



高岡引野坂から手稲方面を望む

最近巷では「平成最後の～」という文言が目立ちます。平成の30年間を振り返ると様々なことが変化した時代だったように思えます。最も感じるのは仏縁が希薄になり簡略化したことです。最近「終活」或いは「エンディング」という言葉、行為が脚光を浴びています。その「終活」の根本心理は「迷惑をかけたくない」という意識です。自分の葬儀を、墓を残すことを残された者に迷惑、負担になるという思いがあるようですが果たしてそうでしょうか。親や配偶者や我が子が私に与えてくれた恩、喜び、幸せは果てしがありません。そして私達は情けないことに何かを支えにしなければ生きていくことが難しいものです。その支えなるのが、葬儀の節目やその後続く年忌法要であり、彼岸やお盆にお墓や納骨堂を訪うことで心の安寧を求めるのでしょうか。昨今、仏事全般が縮小化し故人を偲ぶ機会が減り、人の死を遠ざける風潮と歩調を合わせるように社会では弱者に対する虐待や、無差別に攻撃するなど数十年前では想像も及ばなかった事件が続発しています。命を何よりも尊重し、手を合わせる行為が健全な社会を取り戻す一歩にもなり得るのではないのでしょうか。家族や縁者の死を通し、嘆いても悲しんでもどうにもならぬ命の摂理を見つめ、今を生きるこの私の命の尊さ儻さに目覚めさせて戴く縁が仏事です。迷惑をかけた両親の、共に歩む人生の中で手を差し伸べてくれた配偶者や子の命の恩に報いる為にも、写真のように赤々と燃える太陽が必ず沈むが如く、私の命もやがてはお浄土へ往くその時まで、共に仏縁を求めましょう。

平成 30 年 報 恩 講



藤 順生師

今年も総代、世話係、地区当番、壮年会、婦人会の皆様のお力添えのお陰で、親鸞聖人報恩講が盛大且つ無事に行われました。布教には増毛町西暁寺(さいぎょうじ)住職の藤順生先生にお越し頂き、楽しさの中にもとても分かり易くご法話を賜りました。又、お隣の八幡町信教寺様から御院内と総代、御門徒の皆様にご参拝を戴きました。昨年より浄土真宗札幌組では「報恩講参拝スタンプラリー」の事業が行われ、寺外の御門徒も数多く高岡の田舎までお参りに見えました。当寺の御門徒も負けずにお参りしましょう。夜の余興には恒例の、高岡手踊り同好会の皆様による舞踊や、ハズレなしのビンゴ大会、そして初のご縁でフラ&ウクレレの「パーアニウル」の皆さんにウクレレを奏でフラダンスをご披露戴き大いに盛り上がり、報恩講の夜は更けてまいりました。今回は期間中概ね好天に恵まれ畑仕事ははかどったせいかな馴染みのお顔が見えず、法衣を着込んだお寺さんは汗だらけの報恩講でした。



八幡町信教寺御一行様
ご隣山同土お参りしあいます



本堂幕の飾り付け



仏具のお磨き



物故者追悼法要
橋本さんのお焼香



婦人会・当番の皆さん 厨房で

お陰様で報恩講の準備万端です

懐かしの写真展

お浄土へ往かれた人や、若い自分を探す人とても好評でした。今年も違う写真を掲載します。



ごほっちゅう
御法中(各寺のご住職さん)のご紹介

光明寺のお付き合い寺院の皆様をご紹介します。



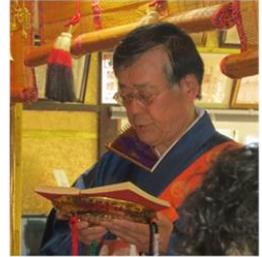
【当別町太美・松雲寺
住所 竹澤信也 師】
相導師といひ当寺と最も付き合いが深いお寺。3人の弟をもつ。



【市内八幡町・信教寺
住職 石田えり子師】
亡き前住職様の後を継ぎ住職に。とても頑張っています。



【市内厚田区・本照寺
住職 竹澤一深 師】
本照寺から願われて太美のお寺から厚田へ。信也師の父



【新篠津村・浄楽寺
住職 木村良麿 師】
元新聞記者から転身し住職。隣の一深師といとこ。



【札幌市手稲区・真宗寺
今年住職 打本宗明 師】
昼は真面目な僧侶、夜は…。住職の息子の面倒を見てくれます。



【札幌市西区・證誓寺
住職 出倉忠隆 師】
北海道で一番変わったお寺さん。でも面倒見がよいです。



【札幌市南区・宝流寺
住職 柴田範尚 師】
多趣味でいろんなこと知っています。血圧と痛風お大事に。



【江別市・真願寺
住職 石堂了正 師】
東京出身で現在札幌組組長。住職と名が逆。もう少しお静かに。



【むかわ町穂別・真光寺
住職 久保田真剛 師】
片道2時間かけて来てくれます。日本酒飲ませりゃ天下第一。



【札幌市東区・慧燈寺
住職 藤澤教彰 師】
最近では体調不良の為代理の方が見えます。ある歌手の父上。



【小樽市・正行寺
住職 岩本運典 師】
光明寺の門徒、岩本家の親戚。元劇団四季俳優。僧侶も色々。



【当別町・勝園寺
住職 上山知現 師】
温泉と蕎麦があれば他は何も要りません。住職の又従兄弟。



【当別町・勝園寺
副住職 上山知昭 師】
右上の知現師の長男。父上に似ずお酒好き。1男1女1妻。



【赤平市・本恵寺
住職 西井芳准 師】
住職のいとこ。前住職が兄弟。お寺を守る傍ら市役所勤務。



【当別町高岡・静正寺
住職 磯石靖克 師】
真宗大谷派(お東)のお寺さん。



【高岡・光明寺】
住職の長男。今春高卒し就職↑
↑住職の次男。今春中3。

報恩講の続き



他寺院から遠路はるばる御参拝の皆様



ビンゴ大会からじゃんけん大会へ



フラ&ウクレレ パーアニウルのみなさん 大いに盛り上がりました!



花を添えた、左から小池梅子さん、田村早代子さん、宮北文子さん

最後に御法中へ御礼言上

親鸞聖人讃仰のつどいに参加

毎年恒例の「親鸞聖人讃仰のつどい」が11月26~27日の1泊2日の日程で定山溪ビューホテルを会場に開催され、当寺からは17名が参加しました。「親鸞聖人讃仰のつどい」とは浄土真宗のみ教えを分かりやすく聞かせて戴き、お念仏を学ぶことと、夜の余興ありの懇親会が目的の研修会です。この度は2名の若い布教使（今回は20代半ばと30代半ばのお二人）よりご法話を戴きました。夜の懇親会では光明寺の御門徒も余興に参加し大変にぎやかな時を過ごしました。その後は当然のように一部屋に集まり酒盛り。今回、お寺から会場のホテルまでは往復とも御門徒と住職との計3台の車に分乗し向かいました。全日程終了後、ホテルを出るときは3台だったのにお寺へ到着したのは2台だけ、5人が乗ったもう1台はどこ行ったんだと思ったら、後で聞くと定山溪から小樽方面へドライブ、回転寿司の昼ご飯にかま栄のかまぼこで買い物巡りだと。でも楽しんで戴けたようで良かったです。楽しんで代わりに、来年も御参加お願いします。



酔っ払いの本向寺住職を含む実行委員の皆さん



投げ銭の準備



村上さんを挟み総代の岩本さんと住職の岩本さん

合掌大観院釋恒頭

元総代大浦恒男様 (当別町) ご往生

平成30年12月22日、行年82歳を一期としてお浄土へご往生を遂げられました。5期15年の永きにわたり光明寺総代として寺門の発展に御尽力戴き、前位職を助けて下さったことです。元総代の御尊父故、卯太郎様の後を継ぎ2代に亘りお寺に尽くして下さいました。生前のご苦勞に感謝の意を表しお念仏を申すばかりです。

宗祖聖人御正忌法要と平成31年度定期総会と新年会 開催

住職は毎年の恒例行事として年末ジャンボ宝くじを買います。いつもは近場のお店で買うのですが、今回行ったのは高額当選続出の「旭川堂前宝くじ店」宝くじ購入の為のツアーバスが運行される程のお店です。しかも、聞けば今年の春で閉店とのこと、何時か行こうと思っていたところにこの知らせ！とばかりに片道1時間40分かかけ行って参りました。やはり頑張った甲斐があったのか続々当たりました¥300が、と思っていたら久し振りに¥3,000も当たっていました。さて、次は年賀状のお年玉くじと思い番号を確かめます。時間だけは有ります。又最下位の切手かい、と思ったら四桁が当たるんですね。「1763!」写真の通りです。因みにこの葉書をお届け下さったのは胆振方面のお寺さんでした。有り難うございました。まだ引き換えに行っていないので「ふるさと小包」とはいかに…。それにしても普段ないことが年初めてにこれだけあると今年はもう打ち止めかもと不安になります。



そんな欲にかられた日々を送る中、お寺では1月15、16日の二日間「宗祖親鸞聖人御正忌法座」が勤まりました。「御正忌」とは親鸞聖人の祥月命日をいい、京都の御本山は1月9日から16日迄8日間にわたり「御正忌報恩講」が勤められます。本来は親鸞聖人の遺徳を偲び御本山へ上山しお念仏申し上げるのですが、遠方でもあり光明寺の御本堂でお参りをしています。以前の成人式頃は荒天が常でしたが、この日はお陰様で穏やかな1日で御門徒の皆さんと正信偈のお参り、二日目はお参りの後、仏教婦人会のご協力でお斎(とき=食事のこと)を戴き午後から光明寺の定期総会、終了後は新年会へ移行し充実且つ疲労感満載の1日を過ごしました。又、今総会でお寺の排水処理工事着工が提案され可決されました。御門徒の皆様には種々ご協力を仰ぐこととなります。後日お知らせを致しますが伏してお願いを申し上げます。



お斎の準備に励む
婦人会の皆さん



御門徒に育てられた長男の了慈が今春高校を卒業し、北海道を離れ新たな道へ進みます。惣万総代が撮ってくれたこの写真を持たせて見送ります。

この度の総会より次の方に総代に就任戴きました。宜しくお願い致します。

竹 永 隆 之 氏 石狩市高岡在住

昨年度のお世話係の皆様、御協力頂き有り難うございました。

又、各地区のお世話係の皆様もこの1年間どうぞ宜しくお願い致します。

秋初穂上納米 有り難うございます

「秋初穂(あきはつほ)」といい、農村地にお寺があることの特徴であり習慣です。この度は有難いことに25軒の御門徒より秋の実りを御上納下さいました。昨年は1年を通し天候不順により例年比で収量不足にも関わらずお仏供米(おぶくまい)や野菜をお寺へお供え下さいました。1年間のお寺のご法要の際に阿弥陀様のご尊前へお供えさせて戴きます。寺族もお米を頂きますので有難いことに我が家ではお米を買ったことがありません。元来北海道は、逞しい開拓精神と共に篤い信仰心を抱いた入植民の手によって開拓されました。開拓に従事しながらも信仰の場を求め、お堂を建立し、僧侶を招き現在に至っています。高岡には山口県岩国からの入植が多いようです。因みに光明寺の開基住職は富山県出身です。高岡開基当初より、大変なご苦勞の中に生活基盤が整い、畑作、稲作を営む御門徒の方々が仏さまと住職へお米や食料をお供え下さり、住職はお寺の番をする、という歴史がいまだに継続されているのが「秋初穂上納」です。分かり易く言うと…



御門徒「ご院主！(住職のこと)阿弥陀様のご飯と住職の飯はわしらが一生懸命作るさかい、ご院主はお寺の番兵をしなければ」
住職「そうか、じゃあワシはお寺を守るさかい阿弥陀さんのお米頼むで！」
と、いったところでしょうか…。

写真は上納米の一部です。他に沢山の野菜と初穂料を御上納賜りました。

秋初穂上納御芳名一覧

五十音順

金伍仟圓也	猪股恒雄様	白米、野菜也	岩本道則様
金壹萬圓也	越後浩義様	金伍仟圓也	沖本昭雄様
金壹萬圓也	沖本勝彦様	金壹萬圓也	沖本吉光様
白米貳斗也	嘉屋寛志様	金壹萬圓也	小池裕明様
白米貳斗也	櫻田勲様	金壹萬圓也	惣万剛三様
白米貳斗也	竹永英吉様	白米貳斗也	竹永隆之様
金伍仟圓也	竹永としみ様	白米貳斗也	中村晴雄様
金壹萬圓也	藤岡暎市様	白米貳斗也	藤岡寿昭様
金壹萬圓也	藤岡浩晃様	野菜他也	前田和雄様
白米壹拾貳也	松本寿夫様	糯米貳斗也	松本文男様
白米貳斗也	松本睦夫様	金壹萬圓也	宮北文子様
金壹萬圓也	村上洋一様	白米貳斗也	盛重治様
白米貳斗也	森田勝弘様		

皆様から寄せられた恵みに心より感謝を申し上げます

仏教壮年会・仏教婦人会の活動

光明寺の教化団体に仏教壮年会と仏教婦人会があります。字の通り、壮年会は男性を、婦人会は女性を対象としていますがそこに共通するのは、お念仏を悦びとする、自分たちのお寺を自分たちで護持するという理念であります。簡単にそれぞれの団体の活動報告を致します。

【仏教壮年会】現在 12名の会員で活動を行っています。主に農閑期の 11～3月の間に月一度の例会を行っています。仏参に始まり法話を聴聞し懇親会の流れで過ごしています。会員が元気



盛んな頃は例会終了が日を跨ぐことも常でしたが、最近が高齢化のせいか夜 10 時頃には解散と切り上げが随分早くなりました。活動の一つに冬には境内除雪と屋根の雪下ろしなどを奉仕活動として行っています。また、全道各地へ赴き仏壮大会に参加し、先日も札幌組に新たに壮年連盟が設立し総会、研修会に参加しました。



【仏教婦人会】通年毎月例会を行っています。例会の内容は壮年会と同様ですが、婦人会には寺院運営に大変ご尽力を戴いています。皆様がお寺へお越しになる際に正面の門からお入りになりますが、その門のそばの花壇に艶やかな花を植栽しお寺の美化に努めて下さっています。他にお寺の法要などの催事には厨房で忙しく駆け回り、年末には壮年会と共同で院内の大掃除を行っています。道内各地の研修会に参加し、他寺院の報恩講参拝など精力的に念仏者としての活動を展開しています。



仏壮・仏婦共に寺院運営に不可欠な団体です。ただ、いずれも年々平均年齢が上がっていますので、未加入の方はどうぞご入会下さい！

お寺の研修旅行にご参加下さい

今年の日帰り研修旅行は **6月30日(日)** に小樽方面へ行きます。主な行程は

【小樽 正行寺様参拝】正行寺様はご住職が岩本さんといい、光明寺の御門徒の岩本家のご親戚にあたります。僧侶になる前は『劇団四季』の劇団員として演じていた異色の
お寺さんです。お坊さんにも色々います。

来なはれ



【余市鶴亀温泉】泉質は食塩泉。別名「熱の湯」といわれる泉質で、濃厚且つ弾力のあるお湯をご堪能下さい。高温、低温の 2 つの露天風呂があり壁の小窓を開けると余市湾が望めます。(温泉のホームページから)ここで昼ご飯の予定です。

【新南樽市場】目利きと技の確かな 25 の専門店で構成する市場として、平成 11 年にオープンした小樽市内で一番新しい総合市場。市場内には、鮮魚水産・加工品をはじめ、米・肉・野菜・果物など食料品、そして休憩所も完備。敵鮮直価(鮮度と安いは当たり前、鮮度を極めた厳選商品を産直価格、実直価格で提供する)をモットーに皆様のお越しをお待ちしております。寿司職人が仕入れる新鮮なネタを使った寿司など和洋 50 品以上のメニューと一杯飲める食事処もあります。

他に後志の立ち寄り処も検討中です。(サクランボ狩りなど?)

参加費は 6～7,000 円程を予定していますが、参加人数により決定します。

皆様のご参加をお待ちしています!!

平成31年度(2019)のご法座、行事予定

4月7日(日)	午後1時	春季永代経法要 布教使 三笠市善行寺 <small>ぜんぎょうじ</small> 名和康成師 <small>なわこうじょう</small>
6月21日(金)	午後1時30分	見真大師親鸞聖人降誕会法要 (石狩真宗連合会会員御寺院御出勤)
		まちづくり出前講座「石狩市の災害・防災」(予定)
	法座終了後	お <small>とき</small> 齋の御接待(仏教婦人会のご協力)
6月30日(日)	朝8時出発	日帰り研修旅行 小樽正行寺様参拝・余市鶴亀温泉・新南樽市場他
8月16日(金)	午後1時	納骨堂感謝法要 (納骨堂にご縁の方はお参り下さい)
	午後1時30分	盂蘭盆会法座
10月19日(土)	午後1時~	報恩講準備
10月20日(日)	親鸞聖人報恩講法要	
~21日(月)	布教使 三笠市善行寺副住職 <small>ぜんぎょうじ</small> 名和康成師 <small>なわこうじょう</small>	
10月20日(日)	午前11時	門信徒物故者追悼法要
同日	午後1時30分	納骨堂総追悼法要
11月17日(日)	午後1時	秋季永代経法座 布教使 札幌市覚英寺 <small>かくえいじ</small> 黒田顕城師 <small>くろだけんじょう</small>

門信徒皆様のお寺です。自分一人の為の仏縁に出会いましょう。
皆様のお参りをお待ち申し上げます。

後記 ここ数年でお寺にご尽力を戴いた方々のご往生が続いています。住職交代以降でも、元総代長の小池勝慶さん、元総代の浦年男さん、小誌に掲載の大浦恒男さんが仏様のお仲間とされました。現在寺報を執筆中にもまた一人ご往生されました。総代でなければ壮年会にも婦人会にも入っていませんでしたが、報恩講にはエプロン片手に遠路お越し頂き厨房でお手伝いされ、お寺にお泊り下さいました。もうそのお姿が見られない寂しさと、お寺に参る方がまた一人減ったことに住職としてお寺の先行きに不安を覚えます。是非新しいお顔もお待ちしています。 文責=住職です